

「市民プラザかぞ」の空調設備等を更新

～感染予防と公共施設の整備～

総合政策部市民協働推進課

館内の換気機能の安定的な稼働により、新型コロナ感染症拡大を防止するため、耐用年数を超過した中央監視装置システムを更新

■ 事業名

市民総合会館管理運営事業

■ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、新しい生活様式の中で「こまめな換気」の実践が求められており、空調機能、特に換気機能の安定的な稼働は、安全に施設を利用するために備えるべき最も重要な感染予防対策です。

「市民プラザかぞ」では、中央監視装置システムにより館内の空調機能を管理し、自動的に換気を行っていますが、同システムは、導入から16年が経過し、耐用年数（概ね10年）を超過しているため、部品の供給等が終了しており、不具合が発生した場合の復旧は困難な状況にあります。

また、「市民プラザかぞ」は水害時避難場所として指定されたことから、当該システムは、災害時の避難場所における感染予防対策としても重要なものとなります。

そこで、館内の換気機能の安定的な稼働を図るため、中央監視装置システムの一括更新を行うものです。

■ 補正予算の概要

（1）システム更新の概要

- ① 熱源、空調、外調機等を制御する自動制御装置の更新
- ② 中央監視装置既設盤改造更新
- ③ 計装工事（直接労務費、盤搬入費、廃材処理費等）

（2）システム更新作業期間

契約から完成まで7カ月程度

※システム更新作業期間中も施設は通常どおり開館

■ 補正予算額 33,000千円